

令和4年度第11回市政懇談会 会議録（要旨）

テーマ：地域が抱える問題について

| |
|---|
| 【日 時】 令和4年8月17日（水） 18時15分 ～ 19時40分 |
| 【場 所】 神原ふれあいセンター |
| 【出席者】 ○篠崎市長 ○（地区代表者5名） 神原地区コミュニティ推進協議会 会長：江嶋 亜企雄 神原地区コミュニティ推進協議会 副会長：福重 敏恵 神原地区防犯連絡所指導員協議会 会長：石丸 雅子 神原地区自治会連合会 副会長：松戸 芳明 神原地区文化体育委員協議会 会長：原田 依勢子 ○総合政策部 ○事務局（広報広聴課、神原ふれあいセンター、地域支援員） |
| 【概 要】 1 開会 2 出席者紹介 3 参加者と市長との意見交換 4 閉会 |
| 【意見交換・懇談】 |
| ○学校統合について 【コミュニティ推進協議会会長】 ・学校の統廃合や小中一貫校について、地域任せでは、いつまでも決まらないので、市のトップダウンで方針を決めてほしい。 【市長】 ・今年度から小中学校適正規模・適正配置審議会を設置し、専門家を交え、子どもたちの教育環境のあるべき姿を議論をした上で、現在の学校の配置について議論をしている。全ての審議が終わった後に、適正配置を示す予定である。 ・小中一貫校は、適正配置の中の選択肢の一つと考えている。先進地の事例も参考にしながらすすめていきたい。 |
| ○神原地区健康づくりの推進について 【コミュニティ推進協議会副会長】 ・神原地区の後期高齢者の人口は増加傾向にあり、大腸がんのがん検診率が、市内23位と低い結果であった。そこで、地区の方の健康への関心を高め、いかに検診を受けてもらえるかということを話し合ってきた。 ・「みんなで声を掛け合って検診を受けよう！」「みんなで誘い合って体を動かそう！」をキ |

ワードに、地区目標として、①比較的検査が受けやすい大腸がん検診の受診率UPを重点的に取り組む、②はつらつ健幸ポイントをコミュニティ団体に幅広く周知する、③会議などや行事の時に体操をしよう、の3点を掲げ、地域支援チームの協力のもと、本年度から5年間を目安に啓発活動に取り組んでいくこととした。

【市長】

- ・検診率が低いのは山口県の課題である。地域で検診率の向上に向けて取り組んでいただくことはありがたい。市も一緒にしっかりと取り組んでいく。
- ・今、本市では、行動経済学の理論の一つ「ナッジ理論」を参考に、検診等を多くの方に受診していただくため、ネットや手紙、性別等、それぞれの人に合わせた案内方法等について研究しているところである。
- ・社会参加をすれば健康ポイントがつくなど、良いアイデアがあればご提案いただきたい。
- ・公園に高齢者向けの健康遊具を設置することを検討している。

○常盤町二丁目交差点付近の現状と要望について

【防犯連絡所指導員協議会会長】

- ・常盤町二丁目の交差点(旧エムラ)は信号待ちが長く、190号線のひとつ北側、佐藤クリニックに続く道を通る車が増え、朝夕は危険を感じる事が多くなった。通学路もあるので、何か良い対策はないか。
- ・スピード制限の標識が見えづらかったり、停止線の白線が消えている箇所がある。

【市長】

- ・当該道路は歩道や緑地帯があり、市内の他の道路に比べ安全性が高い。車がどれぐらいのスピードで走っているかが分かるビックデータを解析しても、当該道路は速度超過をしている車が少ない。
- ・標識の件は警察と相談し、停止線は順次対応する。

○琴芝街区公園の現状について

【防犯連絡所指導員協議会会長】

- ・琴芝街区公園は小学生がよく遊んでおり、日が長い時期は、時々、遅くまで遊んでいる子どもがいる。公園内にミュージックサイレンの設置を検討してほしい。
- ・休日の担当課への連絡方法を教えて欲しい。

【市長】

- ・大切なことは犯罪に巻き込まれないことである。
- ・ミュージックサイレンを設置する場合、近所の方への騒音が問題になる可能性がある。

【市長】

- ・休日の市担当課への連絡については、昨年度の市政懇談会でもお問い合わせいただいた。宿日直から担当課への連絡は確実にを行うよう指導している。市役所へご連絡いた

できれば、速やかに担当課に伝える体制を整えている。

○神原地区内の真締川公園の掃除について

【自治会連合会副会長】

- ・新川まつりと宇部まつりの開催前に、真締川公園沿線の自治会で公園の掃除を実施している。
- ・自治会周辺と公園の二か所の掃除を同時に行っているが、高齢化が進み、5年ほど前から欠席者も増え、参加者の負担が大きくなっている。将来的には、市が業者に委託して実施してもらえないか。

【市長】

- ・まつり前の公園の掃除については、市もしっかりサポートしたい。将来的に難しくなった場合は、市での実施を検討したい。ただし、市が実施する場合は、地域の方での実施に比べ、回数が少なく、範囲が限定されるようになる。
- ・真締川公園については、毎年業者へ委託し、年3回草刈りをしているが、十分ではないと考えているので、地域の方と一緒にすすめていきたい。
- ・持続可能な地域づくりをすすめるため、「地域活動の日」等で地域活動に関わる人を増やしていきたい。

○通行の妨げになっている電柱について

【自治会連合会副会長】

- ・東新川駅前交差点付近の道路端にある電柱の位置が悪く、接触事故がいつ起こってもおかしくない。何か良い対策はないか。

【市長】

- ・私も電柱の設置場所の状況は把握している。中国電力ネットワーク(株)が1969年に設置したもので、設置から50年が経過している。基本的に電柱は50年で立て替えているとのことなので、電柱の管理者に伝える。

○神原地区のデジタル化について

【文化体育委員協議会会長】

- ・神原地区では、地域づくり・地域活性化のためにデジタル化推進事業を展開している。現在、かみはらホームページやSNS(Facebook、Instagram、Twitter、LINE)で情報発信をしたり、オンライン会議で話し合い、フォトコンテストを開催するなど、新たな試みにもチャレンジしている。
- ・デジタル化を推進していくことで、若い世代の地域活動への参画を図るとともに、ふれあいセンターが多世代の交流の拠点となり、コミュニティ運営がスムーズになることを目標としている。
- ・各地区のデジタル化の実情に応じて、必要な時に適切なサポートが受けられるような体制

を構築してほしい。

【市長】

- ・神原地区のデジタル化は、市内における先進事例である。他地区の市政懇談会でも神原地区の取り組みを紹介している。
- ・今年度、24地区で高齢者向けのスマホ教室を開催し、LINE、アプリ、電子申請の使い方などの研修を実施する。地域の学生等の若い人たちの協力をしてもらって、スマホを活用したイベントの開催も予定している。
- ・機器の使い方や操作等の具体的な研修の要望は、地域支援員やふれあいセンター職員に相談していただければ対応する。
- ・どうやったら情報が伝わるかということは、市でも模索中だが、神原地区のようにフォトコンテストをやるという試みは良いと思う。一番のインフルエンサーは若い人なので、地域の子どもたち、PTA、子ども会等を巻き込むと良いかもしれない。

○猫のえさやりの規制について

【コミュニティ推進協議会会長】

- ・猫のえさやりをする人がいて困っている。規制が出来ないか。

【市長】

- ・猫に関する規制等は賛否両論あり難しい。
- ・「地域猫」という形で、地域で猫を飼うという仕組みもある。
- ・市はクラウドファンディングでお金を集め、猫の去勢手術に補助金を出し、不幸な猫が増えないように取り組んでいる。

【コミュニティ推進協議会会長】

- ・猫が糞をして、においもあり、衛生上良くない。

【市長】

- ・問題になっているというところがあれば、個別に担当課にご相談いただいて、対応していきたい。

○公園の芝生化について

【コミュニティ推進協議会会長】

- ・マンションが建ち並んでビル風が吹くようになり、宮大路公園の砂が舞い上がり困っている。公園の芝生化は出来ないか。

【市長】

- ・中長期的な課題として検討したい。

○街路樹清掃用のごみ袋について

【コミュニティ推進協議会会長】

- ・地区内には多くの街路樹がある。市から支給される清掃用のごみ袋では足りないので、追加で支給してほしい。

【市長】

- ・ごみ袋の支給については検討する。
- ・常盤通りの街路樹で、大きく危険性が高いものを整理し、歴史的に必要な街路樹は残していく予定である。

○旧市役所庁舎について

【自治会連合会副会長】

- ・旧市役所の庁舎はどうなるのか。現在の状況と今後の予定について知りたい。

【市長】

- ・旧庁舎は今年度から解体を開始し、跡地には2期棟を建設する。令和6年度に完成予定である。
- ・2期棟を含めた常盤通りのウォークアブル化については、これから地域で説明会を開催していく。居心地が良くて歩きたくなるようなエリアとして整備したい。

○神原地区の文化体育振興の現状と要望

【文化体育委員協議会会長】

- ・小学校の運動会が秋から春に変更になったことや新型コロナウイルス感染症の拡大を受け、地区の運動会が中止になった。
- ・今年度、レノファ山口と一緒にポッチャ大会を開催した。
- ・今後も、地域の方の思い出に残る活動を実施していきたいので、備品の充実や市の事業への地区コミュニティの参画を推進してほしい。

【市長】

- ・今、地方プロスポーツは地域のイベントとの連携を重要視している。スポーツコミッションを活用し連携を推進していただきたい。
- ・備品については、地域のコミュニティ団体で協議の上、助成金をご活用いただきたい。
- ・常盤通りのウォークアブル化では、路側帯を撤去し芝生化することを検討しており、そこで地区イベントを開催することもできると考えている。